

どうなる？ゴルフの未来

TALK



コロナ禍で大きく盛り上がったゴルフ用品業界。ただここに来て、その勢いは鈍化しつつある。ゴルフをブームで終わらせないようするには業界はどうあるべきか。大型ゴルフ専門店「ゴルフ坊」を全国に約200店展開するアルペンの水野敦之社長と、「パーリーダイツ」や「ニューバランスゴルフ」など人気ゴルフアパレルを複数手掛けるTS1ホールディングス（HD）の仙座学上席執行役員が、市場活性化に必要なことを語り合った。（聞き手・構成＝杉江蘭平）

TS1ホールディングス上席執行役員事業担当兼
TS1ウェルネス&ライフスタイルディビジョン長

アルペン社長

仙座 学さん × 水野敦之さん



優越感を提供したい



海外展開を聞く

水野社長は「ゴルフブーム」が、一時的なブームで終わらぬよう、アメリカやヨーロッパなど海外市場への展開を積極的に進めたいと考えている。海外展開の具体的な計画は、今後どのように進めたいのか、水野社長に聞いた。

水野社長は「ゴルフブーム」が、一時的なブームで終わらぬよう、アメリカやヨーロッパなど海外市場への展開を積極的に進めたいと考えている。海外展開の具体的な計画は、今後どのように進めたいのか、水野社長に聞いた。

水野社長は「ゴルフブーム」が、一時的なブームで終わらぬよう、アメリカやヨーロッパなど海外市場への展開を積極的に進めたいと考えている。海外展開の具体的な計画は、今後どのように進めたいのか、水野社長に聞いた。

水野社長は「ゴルフブーム」が、一時的なブームで終わらぬよう、アメリカやヨーロッパなど海外市場への展開を積極的に進めたいと考えている。海外展開の具体的な計画は、今後どのように進めたいのか、水野社長に聞いた。

水野社長は「ゴルフブーム」が、一時的なブームで終わらぬよう、アメリカやヨーロッパなど海外市場への展開を積極的に進めたいと考えている。海外展開の具体的な計画は、今後どのように進めたいのか、水野社長に聞いた。

お荷物だった
水野社長は「ゴルフブーム」が、一時的なブームで終わらぬよう、アメリカやヨーロッパなど海外市場への展開を積極的に進めたいと考えている。海外展開の具体的な計画は、今後どのように進めたいのか、水野社長に聞いた。



業界を超えた連携を

水野社長は「ゴルフブーム」が、一時的なブームで終わらぬよう、アメリカやヨーロッパなど海外市場への展開を積極的に進めたいと考えている。海外展開の具体的な計画は、今後どのように進めたいのか、水野社長に聞いた。

水野社長は「ゴルフブーム」が、一時的なブームで終わらぬよう、アメリカやヨーロッパなど海外市場への展開を積極的に進めたいと考えている。海外展開の具体的な計画は、今後どのように進めたいのか、水野社長に聞いた。

水野社長は「ゴルフブーム」が、一時的なブームで終わらぬよう、アメリカやヨーロッパなど海外市場への展開を積極的に進めたいと考えている。海外展開の具体的な計画は、今後どのように進めたいのか、水野社長に聞いた。

※2023年2月期に於けるパーリーダイツの売上高（減価償却金含む）が170億900万円（前年同期比13.4%増）となり、TS1HDのブランド別売上高で初めて1位となった。なお順位は「ニューバランス」（147億9400万円）、3位は「マールレットハウエル」（128億100万円）。

※2023年2月期に於けるパーリーダイツの売上高（減価償却金含む）が170億900万円（前年同期比13.4%増）となり、TS1HDのブランド別売上高で初めて1位となった。なお順位は「ニューバランス」（147億9400万円）、3位は「マールレットハウエル」（128億100万円）。